

あけまして おめでとうございます！



皆様のお祈りとご支援のおかげで、メトロは、日曜学校の参加者数が100万人を超え、今では、毎週平均で、毎週、1,085,788人の子どもたちが参加するまでになっています。これは世界の教会の歴史上、初めての出来事です。ですから、私たちは皆さんの助けと祈り、そしてこの100万という節目の実現に多くの皆さんが果たしてくださった役割に心から感謝しています。

皆さんも私たちと共に教会の歴史を作り上げています。メトロの私たちと、これをお読みの皆さんと共に、イエス様にすべての賛美と栄光を捧げたいのです。

神によって与えられた最高の贈り物を達成するための器官となり、これまで語られた中で最も素晴らしい物語を伝える一員となってくださり、その物語を世界中で共有するのを助けてくださり、ありがとうございます。

神の祝福が豊かにありますように。メトロの全員から皆様へ、新しい一年の祝福をお祈りいたします！

「わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。——主の御告げ。——それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。」 聖書：エレミヤ書 29章11節

ビル・ウィルソン

フィリピンの 新年度就学支援

フィリピンの学校では、昨年までずっとコロナ禍の影響が続いており、学校の開講時間が変更されたり、延長されたりと不規則な状況が続いていました。しかし、今年からようやく元通りの学習システムに戻すことを政府が決定したようです。

大変急ですが、フィリピンの就学支援のメ切が1月30日になりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。もっと早くにお知らせできれば良かったのですが、申し訳ございません。

皆様すでにご存じの通り、スラム街の子どもにとって学校に行くことは非常に重要です。まず、学校に通わなければ、英語の読み書きも会話もできません。そうすると、将来普通の職に就くことが大変難しくなります。そのため、いつまでたっても親と同じスラム街の生活から抜け出すことができないのです。また、学校に行けば新しい考え方を学ぶことができます。スラム街では見聞きすることのできない普通の人々の考え方や行動の仕方に触れることができます。

しかし、新年度は家族にとって大きなハードルです。通学するためには制服が必要ですが、どんどん成長する子どもの制服を買い替えたり筆記用具その他の消耗品を購入するために、まとまった現金が必要になるからです。

少額の支援でも、親にとっては大きな助けとなります。どうぞご支援をご検討ください。

至急！

ケニア就学支援締切
1月30日(木)



常時スポンサー募集中！

お申込はこちらから⇒

<https://metroworldchild.jp/apply-for-sponsor/>



今月の引き落とし日！

1月27日(月)です。前日に残高をご確認ください！

今月号の目次

P2…ビル師からのメッセージ

P3…インターンシップレポート

P4…日本事務所から大切なお知らせ

海外のスポンサーのお証し

昨年行われましたセミナーの中で、お証しをしてくださった方のお話をご紹介します。

9年前に、シンガポールからマニラのメトロ・フィリピンを訪問されてスポンサーになってくださったシャンティーさんです。シンガポールエアラインの客室乗務員をしている方で、ポスターにも載っていた方です。彼女はマニラの子どものスポンサーをしてくださっていますが、東京セミナー当日の朝、シンガポールから日本にいられてセミナーに参加してくださいました。

スポンサーとしてのお証し

この集会にどうしても出たくて、スケジュールを調整して日本にやってきました。私がビル先生に会ったのは随分前になります。ビル先生から何度も「一度でいいからマニラと一緒においで」と誘われていました。そのたびに適当な返事をして、本当は行く気は全然ありませんでした。

9年前に、一度だけスラム街を見てもみようという気になりました。ちょっとだけ見学してすぐに帰ろうと思ったのです。でも行ってみると、スタッフと一緒に日曜学校の奉仕をさせられました。1日で3か所の日曜学校を回りました。1か所に子どもたちが500人くらいいて、みんなすごく汚くて、シラミも持っています。食べ物をあげたり、日曜学校のテントを立てたりして、すごく疲れました。客室乗務員として、500人の乗客の方にサービスするよりもっと疲れました。そこにいた子どもたちよりもお腹がぺこぺこだったと思います。



日曜学校に参加していて、ある一人の男の子が気になりました。目がキラキラ輝いていて、よくお話を聞いていました。とても賢そうな子でした。でもその時、たとえ頭がよくても、スラム街で育った彼にどんな未来があるのかということを考えてみました。

もしここで育ったら、麻薬中毒になるかもしれないし、仕事に就けるかどうかもわからない。この子の親と同じことが繰り返されるのではと思いました。それ



で、その場ですぐにその子の里親になる決心をしました。彼と彼の家族をスラム街から出られるようにしたいと思ってサポートを始めたのです。

その後も会いに行きました。お母さんをスーパーに連れて行って一緒に買い物もしました。スーパーのカート一杯に商品を入れると、お母さんが泣き始めたのです。私にとっては高額な買い物ではありませんでしたが、彼女にとっては見たことのない恵みだったのです。

次の年に訪問した時、「シャンティーおねえちゃん」と言ってたくさん子どもたちが集まって来ました。私がたくさん食べ物を買ってくれたことを知って、自分のスポンサーになってほしいとねだってきたのです。しかし私には、全員をサポートをするような力はありません。

実は、コロナ禍で私の収入は70%も減ってしまい、スポンサーを続けるかどうか迷ってしまいました。そして、続けようと思った途端、ビル先生から「今度はケニアの子どものスポンサーにもなってほしい」と言われて断れませんでした。でも、夫には

とてもそのことを言えませんでした。しかし、様々なことを通して、神様は私を祝福してくださいました。私がスポンサーとして支払った倍は返してくださいました。神様の子どもを助ければ、神様は私の子どもを助けてくれると確信しました。

その時、メトロやメトロの子どもたちが私を必要としているのではなく、私がメトロを必要としているということ、神様が私にメトロを通して祝福してくださろうとしていることに気づいたのです。それによって私の人生は変えられました。私の人生が根底から変わった瞬間でした。

その時、メトロやメトロの子どもたちが私を必要としているのではなく、私がメトロを必要としているということ、神様が私にメトロを通して祝福してくださろうとしていることに気づいたのです。それによって私の人生は変えられました。私の人生が根底から変わった瞬間でした。

その時、メトロやメトロの子どもたちが私を必要としているのではなく、私がメトロを必要としているということ、神様が私にメトロを通して祝福してくださろうとしていることに気づいたのです。それによって私の人生は変えられました。私の人生が根底から変わった瞬間でした。



メトロ・フィリピン インターンシップレポート

2024年度にメトロ・フィリピンのインターンシップを体験された大城冨貴様より、体験レポートをお送りいただきましたので皆様にお届けします。



インターンシップを修了し、無事に帰国しました！

フィリピンでのインターンシップは私にとって宝物になりました。本当にありがとうございます！

メトロの日曜学校や家庭訪問をしていることの意味

子どもたちの生活環境は、とても貧しく厳しく、ドラッグやお酒、暴力、性犯罪、たくさんの危険や罪が隣り合わせです。しかし、子どもたちが日曜学校に参加することでイエス様の真理を知ることができます。どのような状況や環境の中にも子どもたちは誰にも比べられないほど価値があること、将来に選択肢があること、神様が彼らを助けてくださること、また神様に愛されていることを知ることができます。

彼らは日曜学校が大好きで、メトロのトラックやスタッフを見ると「Sidewalk! Sidewalk!」と嬉しそうに駆け寄ってきます。彼らの日常の中で日曜学校、そして家庭訪問が、彼らの一番の楽しみになっているのを感じました。彼らはイエス様が大好きで、本当に真っ直ぐに主イエス・キリストを信じています。そして心からの賛美を捧げます。彼らが毎週日曜学校に通うことでイエス様を知り、イエス様との信頼関係を築いているのを見て本当にメトロの日曜学校が彼らにとって大きな意味を成しているのを感じました。

家庭訪問では、子どもたち、また子どもたちの家族

に毎週訪問することによって信頼関係を築くことができました。家庭訪問では、子どもたちが喜ぶおもちゃやヘアゴム、キャンディーを持って行って一緒に遊びながら日曜学校に誘います。子どもたちの両親は日曜学校に対してとてもオープンで積極的ですが、時には子どもたちを行かせたくないという方もいます。しかし、忠実に毎週通うことによって徐々に心を開いてくださり、彼らとも関係を築くことができました。子どもたちが日曜学校で福音を聞くことによって、彼らが福音を持って帰り家族に広げることができるというのは、大きな種蒔きになっていました。

また、日曜学校のあとはいつも美味しく暖かいご飯の配給があります。その際も彼らの嬉しそうな笑顔を見ることができました。彼らは自分の家から欠けていたり少し汚れのついているお皿を持ってきて、配給を嬉しそうに待ちます。そして、「おいしいよ〜!!」と嬉しそうに報告してくれます。

このようにメトロの日曜学校では、子どもたちが神様の御言葉を通して満たされ、物質的にも満たされるのを見ることができました。



今年のキャンペーン予定

その都度ご案内を差し上げますので、毎月のレポートをお見逃しなく！

ご案内月	アメリカ	フィリピン	ケニア
1月		就学支援1月30日✕	
2月	イースター3月5日✕	キャンプ3月10日✕	
4月	キャンプ5月25日✕		
6月	就学支援7月6日✕		
7月			キャンプ8月20日✕
8月			クリスマス9月10日✕
9月	感謝祭10月5日✕		
10月	クリスマス11月25日✕	クリスマス11月10日✕	就学支援11月25日✕

上記以外の月でも、いつでも食料品その他のプレゼントを送ることができます。ネットやメール、電話などでお申込みください。誕生日のお知らせは、誕生月の前月のレポートにお知らせを入れていただきますので、ご参考にしてください。なるべく早めにお申し込みいただきますと、現地のスタッフはとても助かります。



日本事務所からの重要なお知らせとお願い

注意!

偽サイトにご注意を!

ビル師の偽のSNSがたくさん発生しています。騙されて献金を送金されないように、くれぐれもご注意ください。

ビル先生の Facebook は以下の一つだけです。

<https://www.facebook.com/PastorBillWilson>

ビル先生が、直接献金を依頼することはありません。メッセージやその他の方法で、個人的に連絡することや友達申請することはありません。友達リクエストを受け取った場合は、その偽アカウントを Facebook に報告し、ブロックしてください。

メトロの働きやビル先生へのご支援は、必ず日本事務所を通してお送りください。

現在開催中のキャンペーン!

現在行っているキャンペーンは、以下の通りです。同封のお申込用紙をご覧ください。

・フィリピンの就学支援 1月30日(木)締切

また、ご支援いただいています子どもの誕生日の前月には、お知らせの手紙を同封しますので、必ず開封して中をご確認ください。ご自身の状況に合わせてプレゼントをお考えいただければ幸いです。子どもの数は非常に多いので、現地のスタッフがプレゼントを届ける計画を立てるためにぜひ早めにお申し込みください。

口座引落手続きをされている方は、翌月のお引き落としに加算することもできます。

お引落日は、お申し込み日の翌月です。

<https://metroworldchild.jp/gift/>



! スポンサー募集中!

メトロの働きは各国で急激に拡大し、サポートの必要な子どもの数は、飛躍的に増えています。新規スポンサーを常時募集していますので、よろしくお願いたします。

コロナや戦争で、貧困地域の状況は悪化し続けており、世界中の物価は急激に上昇しています。メトロの活動している地域では、以前から食事をまともに食べることができない子どもがたくさんいましたが、今はさらに深刻な状況です。私たちは、一人でも多くの子どもにスポンサーを見つけようと手を尽くしています。どうぞ、身近な方々にメトロをご紹介ください。

メトロ紹介&申込サイト⇒

<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



日本事務所よりごあいさつ!

新年あけましておめでとうございます。

去年は、ようやく日本でのセミナーも再開できたことを感謝しています。スラム街に生きる子どもたちにとっては、戦争や災害など、実に多くのことが起きた1年でした。しかし、どのような状況の中においても主の御業は前進し続けました。皆様の祈りとご支援により、ついにメトロの教会学校で関わる子どもたちの数が、100万人を超えたことを感謝と感動を持って受け止めています。

これから先は、桁違いの成長が目の前に迫っていますが、それが、親にも捨てられた、みすぼらしい、たたった一人の少年から始まったこと、私たち小さい者の一人一人の支援によって実現できていることは、まさに神の知恵と御業によるものです。

この一年、皆様が神の御業を実感する、圧倒的な勝利を体験できますようにお祈りします。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座5-14-6

橋ビルII 7階 TFC内

電話 03-6264-7370 (松山事務所 089-992-9020)

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン